

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	32	—	事業名	古戦場桜まつり事業	担当部課	くらし文化部 生涯学習課
------	----	---	-----	-----------	------	--------------

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち			
		分野別項目	4	文化・芸術に親しむ場と機会を充実する			
		施策の進め方	3	町固有の伝統文化の継承			
	まちづくり 行程表	フラッグ	3	「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～			
		政策分類	64	地域文化活動の支援			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ①国指定史跡のある古戦場公園で、来場者が地域の歴史に触れ、交流する場を提供する。 ②市民による参加団体が構成する実行委員会が主体的に古戦場桜まつりを開催する。 ③広く市の史跡及び観光PRを行う。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、団体等					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 史跡PRのため、多くの人に訪れてもらう。					
	事業を 構成する 事務事業	①	古戦場桜まつり事業	改善・見直し	④		
	②			⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
		事業費(A)	千円	予算	/	/	/
	決算			/	/	/	2,512
	人件費(B)	千円	決算	/	/	/	2,903
	総コスト(A)+(B)	千円	決算	/	/	/	5,415

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	A	来場者数	人	目標	9,000	9,000	8,500	8,500	
				実績	8,000	8,000	8,000	5,000	
	B			目標					
				実績					
C			目標						
			実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
	A より多くの方に来場してもらうため、前年度実績からの増加を目標とする。								
	B								
	C								

環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 近隣の実施市町：日進市(岩崎城春まつり(主催：日進市商工会))、尾張旭市(城山公園さくらまつり(主催：尾張旭まつり実行委員会、運営：尾張旭市観光協会))
------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 開催日が雨天だったこともあり、目標値には至らなかった。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 魅力あるまつりの企画に注力しているが、開催日の天候や桜の開花状況による来場者数の増減について判断が難しい面がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 市民参加による古戦場桜まつり実行委員会の主催(H25年度より移行)により、市民主体で開催している。目標値を目指し、実行委員会でより魅力あるまつりを開催していく。
--------	--

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	古戦場桜まつり事業									
-----	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

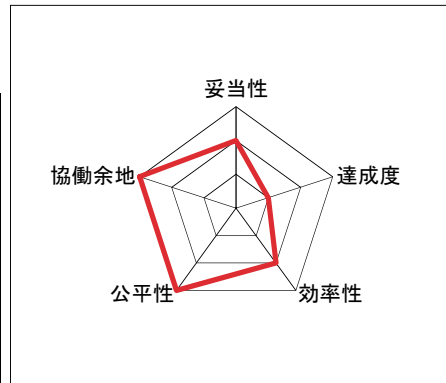
番号	①	事務事業名	古戦場桜まつり事業									
----	---	-------	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 古戦場桜まつりに訪れる人と市民に対し、古戦場公園で古戦場桜まつりを実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 史跡のPRのため、多くの人に訪れて貰う。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	1
効率性	2
公平性	3
協働余地	3



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算				2,565
		決算				2,512

6. 今後の方向性

改善・見直し

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
実行委員会開催回数	回	目標	-	4	4	5	
		実績	-	4	4	5	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

古戦場桜まつり実行委員会において、来場者数を増加できるように、より魅力あるまつりの開催を検討し、実行委員で役割を分担することで、より効率性を高めてまつりを運営する。

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)